

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 勝山市立勝山中部中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒911-0035
福井県勝山市郡町1丁目3-34

E-mail tyubutyu@edu.city.katsuyama.fukui.jp

Website http://www3.fukui-c.ed.jp/~k-tyuubu/htdocs/?page_id=13

児童生徒数 男子 104 名 女子 111 名 合計 215 名
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (ふるさと)

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

① 地域環境調査活動（1年）

タンポポとセイタカアワダチソウの2種類の植物に焦点を当てて、環境調査活動を行った。調査内容は、学校周辺に生息しているタンポポの在来種と外来種の分布図の作成と、セイタカアワダチソウの分布図の作成である。



事前学習として、ナチュラリストリーダーの方を講師に招き、勝山の自然についてのお話や、タンポポの在来種と外来種の種類や見分け方、調査活動の行い方について説明していただいた。

調査活動は、地図に色マジックで分布の様子をチェックしていった。この調査活動を5月（タンポポ）と7月（セイタカアワダチソウ）の2度行った。2回の調査で得られた結果をまとめて、学校祭でステージ発表を行い全校に発信した。

生徒達は、調査前には「勝山は自然が豊かな場所だ」と答えていたが、この結果を踏まえて考えが変わった生徒も見られた。生徒の感想には、「勝山のタンポポは在来種ばかりで、勝山の自然は無くなっているんだなと感じた」「日本のタンポポが、減り続けていることが分かった。今までは勝山は自然が多いと思っていたけれど、今回の結果を見ると、どうなのかな？と思ってきた」という内容も多くあり、自然に対して新しい視点を持つことができたようだ。

② 地域環境美化活動「浄土寺川清掃」（3年）

35年以上続けている、学校の前を流れる浄土寺川の清掃活動を本年度も行った。浄土寺川は、これまでの清掃活動と地域の方々の協力で、近年は水質の改善が進み、市内では有名なホテル観賞スポットとなっている。



午後約2時間をかけて、3年生全員が川に入り、約1.5km間の川の中に落ちているゴミ拾いを行った。今年もゴミの量はそれほど多くはなかったが、小型ダンプ1台分のゴミを回収した。



「環境美化活動は根本的な解決策ではない。ゴミを捨てる人がなくなる限りまた汚れる。収集したゴミを検証して、次の活動につなげよう。」という考え方を、今後も継続し浄土寺川清掃を行っていきたい。

③ 外来種駆除活動（1・2年）

1年生が行った環境調査活動を受け、1・2年生が合同で、セイタカアワダチソウの駆除を行った。学校の北部と南部に分かれ、駆除活動を行った。場所によっては、群生しすぎていて駆除が難航する箇所もあつ

た。

また、民家の中や立ち入り禁止の場所もあり、全て駆除することはできなかった。活動後、生徒が「休日出かけたら、〇〇にも生えていた」「△△で見かけた」などセイタカアワダチソウに関する発言が聞こえ、関心を持ったことが分かった。



④ 環境実物体験「溶岩を観察する」(1年)

勝山市は恐竜化石、火山活動による地形、九頭竜川などの河川とその地形により、ジオパークに指定されている。このことは、ふるさと勝山の魅力の1つだと考えることができる。ジオパークの見どころの1つである、火山活動による地形がどのようにしてできるかを、理科の火山の学習と合わせて学習することにした。



大学から講師を招き、火山噴出物の1つである溶岩を生々の姿でとらえ、自然の力を実際に感じられるようにした。生徒の反応は、「すごい」の一言であったが、画像や映像を見るのとはまた違ったように感じた。

⑤ 遠足「英語で勝山市を紹介しよう」(2年)

本校の英語教育の研究と合わせ、金沢遠足での班別活動で、外国人にむけて勝山市の紹介を英語で行うことを目標に、ふるさと勝山の魅力や名所を調べ、英語で紹介する活動に取り組んだ。実際に英語で紹介してみると、自分たちの英語で十分にコミュニケーションが取れたことで自信がつくとともに、勝山市はまだまだ知られていないので、情報発信をしていく必要があることが分かった。遠足での活動は、学校祭でも発表し、他学年や保護者にも伝えることができた。



⑥ ふるさと発信(3年)

「サウンドロゴを取り入れたCMを作ろう!」「英語で勝山を紹介しよう!」「ふるさと勝山を表すロゴを創ろう!」の中から、生徒たちが1つのテーマを選択し、ふるさと勝山の魅力を発信する活動を行った。

ア) サウンドロゴを取り入れたCMを作ろう!

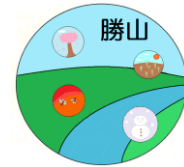
グループごとに勝山の魅力について意見を出し合い、CMで表現したいテーマを話し合っで決めた。次に15秒のCMの流れと、サウンドロゴを入れるタイミングを決め、その後、勝山の魅力を表現するためのサウンドロゴを作った。勝山の自然の写真や動画、サウンドロゴを使って編集し、できたCMを勝山中部中学校のホームページで配信した。

- イ) 英語で勝山を紹介しよう！
「食べ物」「おみやげ」「観光地」「祭」「自然」「勝山の著名人」の6つのグループに分かれ、テーマごとに勝山の魅力を1枚のスライドにまとめた。次にスライドに合った説明を英語で考えた。



奥越地域に来ている交換留学生2名を学校に招き、発表会を行った。発表会では、留学生の母国についても紹介してもらった。

- ウ) ふるさと勝山を表すロゴを創ろう！
これまでの学習を通して、ふるさと勝山について学んだことを生かして、ふるさとに対する思いをまとめた。その後、ロゴに込めたい思いについて考え、コンピュータソフトを使い、ロゴを制作した。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ _____ ）